



《天邪鬼》安井敏也 画 令和5年(2023) 個人蔵

— 山形市制施行135周年・開館35周年記念 —

企画展

# 妖怪

「もののけ」の表現、  
江戸時代から現代まで

令和6年

6/14 金 ▶ 8/29 木

【休館日：7月3日(水)、24日(水)、8月28日(水)】

開館時間 午前9時～午後4時30分

入館料 大人400円 ※20名以上の団体は1名につき320円  
※高校生以下、及び障がい者手帳をご提示の方は無料

※常設展示「芭蕉の生涯」を同時公開

主催／山寺芭蕉記念館指定管理者 公益財団法人山形市文化振興事業団 協力／山寺観光協会

YAMADERA BASHO MEMORIAL MUSEUM  
山寺芭蕉記念館

〒999-3301 山形市大字山寺字南院4223 (JR「山寺駅」下車、徒歩8分) TEL.023-695-2221  
http://yamadera-basho.jp 〈指定管理者〉公益財団法人山形市文化振興事業団



— 山形市制施行135周年・開館35周年記念 —

# 妖怪

「もののけ」の表現、  
江戸時代から現代まで



《アマビエ》 渡邊 渡作 令和5年(2023) 個人蔵



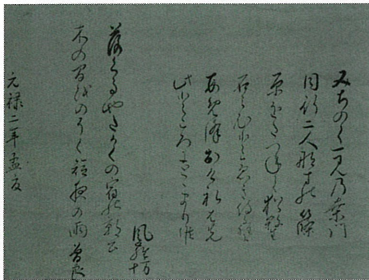
《飛驒の猿神》 金子富之 画 平成31年(2019) 個人蔵



《今昔 百鬼拾遺》  
鳥山石燕 画  
安永10年(1781) 個人蔵



《東海道五十三對 桑名》  
歌川国芳 画  
江戸後期(19世紀) 個人蔵



《「落くるや」句文懐紙》松尾芭蕉 筆  
元禄2年(1689) ©長谷川コレクション・本館蔵

妖怪は「もののけ」とも言われ、古来より様々な文学作品、美術作品に取り上げられてきました。松尾芭蕉も紀行文『おくのほそ道』の中で、「九尾の狐伝説」の殺生石を訪れた様子を描写しています。また、与謝蕪村、鳥山石燕、歌川国芳などの江戸時代の画家は妖怪を描いた作品を残していますが、彼らの影響はその後、多くの作家に引き継がれて今日に至ります。

このたびの展覧会では、江戸時代から現代に至るまで、妖怪や異界が絵画や文学などでどのように表現されてきたのかを見ていきます。妖怪が日本文化に与えた影響がいかなるものだったのか、また、その時代ごとの特徴がいかなるものだったかをご鑑賞ください。



《變》 安井敏也 画 令和6年(2024) 個人蔵



《白澤》 北葛飾 狸狐 作 平成24年(2012) 個人蔵

イベント  
関連

妖怪展を見て“もののけ”の話を聴こう

## トワイライトミュージアム

日 時 / 令和6年8月3日(土) 受付:午後4時30分まで

内 容 / 企画展「妖怪」ギャラリートーク

当館学芸員(午後4時30分~午後4時45分)

※講座終了後、展示室はご覧いただけません。

**講演1** 『『山海経』とは何か 『山海経』に見る古代中国ロマン』

洋画家 安井敏也氏(午後4時50分~午後5時20分)

**講演2** 「山形もののけ夜話」

作家 黒木あるじ氏(午後5時30分~午後6時30分)

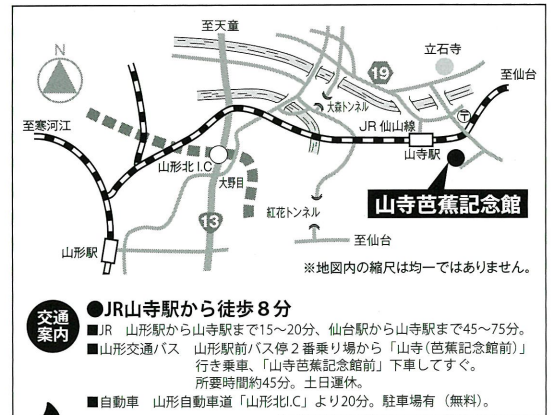
場 所 / 山寺芭蕉記念館 展示室、及びロビー

定 員 / 40名(先着順)

申 込 み / 当日、受付でお申し込みください。

参 加 費 / 入館料400円のみ

(高校生以下、及び障がい者手帳をご提示の方は無料。)



●JR山寺駅から徒歩8分

■JR 山形駅から山寺駅まで15~20分、仙台駅から山寺駅まで45~75分。

■山形交通バス 山形駅前バス停2番乗り場から「山寺(芭蕉記念館前)」

行き乗車、「山寺芭蕉記念館前」下車してすぐ。

所要時間約45分。土日運休。

■自動車 山形自動車道「山形北IC」より20分。駐車場有(無料)。

イベント  
関連

ギャラリートーク(学芸員による展示解説)

日 時 / 令和6年7月28日(日) 午後2時から(約25分)

参 加 費 / 入館料のみ(事前申し込み不要)